

toVO トヴェ  
PLUS

www.tovo2011.com

SEASON 4

No.045 - 100号まで、残り55家族、55ヶ月



045

2011年10月15日発行 10月号 10月号 10月号 10月号 10月号 10月号 10月号 10月号 10月号 10月号





今号（46家族目）のご家族▶

越田 由紀子さん・風羽ちゃん

撮影場所▶アップルモール（板柳町）

【インタビュー】

●2011年3月11日のこと、憶えていますか？

▶由紀子さん「私は、その時、おばあちゃん（由紀子さんの祖母。風羽ちゃんから見ると曾祖母）の家に行ってたんですよ。着いてすぐに地震が

来て、おばあちゃんと2人で（揺れが）長いね、長いね、大丈夫かな、大きかったねって言ってきました。すると、すぐに停電して...ラジオをつけてみたら、そのラジオの電池が消耗してて、おばあちゃん『わい、スミ（津軽弁で乾電池）ねえじゃ。』って言って、新しい電池探して交換して、聞いてみたら凄いことになってるよ、大きいみたいだよと...。それから、おばあちゃんの家には、電気を使わないストーブがなかったので、買いに行くことになったんですが、道路は停電で信号が消えて渋滞していました。交差点で一般の人が交通整理していたのを見て、こういう時に、みんな動けるんだな、凄いなあって思いましたね...。そしてお店に着いたんですが、既に閉まっていて、買えなかったんです。割と早く行ったんですけど、開いてなくて...。ストーブは私の家に使っていない小さいのがあったので、それを渡しました。風羽はその頃、保育園で待っていて...。」

▶風羽ちゃん「みんな帰ってるけど何人か遅くまで（お迎えを）待ってて、風羽も待ってた。」

▶由紀子さん「保育園の方が安全かなって思って。迎えに行ったら他の子がほとんどいなくてね。迎えに来るんだべがって思ったでしょ？」

▶風羽ちゃん「うん。園長先生と一緒に体育館に行ったり、他の部屋ですっと本読んだりして待ってた。みんな怖がったりしてなかったよ。」

▶由紀子さん「風羽を連れて帰って、しばらく家にいたんですけど、入ってくる情報がどんどん大変なことになってきて...。」

●その後はどうされてましたか？

▶由紀子さん「その頃、妹が仙台に住んでいたんですが、地震から何時間も電話が通じなかったんですよ。しばらくしてから『じしんすごかったけどぶじでくるまのなかにいます』みたいな全部ひらがなのメールが来たんです。おそらく、一瞬携帯が繋がった時に、バババッと打ったんだと思います。後で聞いた話なんですけど、住んでいたアパートが半分崩れちゃったり、道には木や岩が転がっていたり、飼っていた猫3匹のうち1匹が地震のショックで死んじゃったりと大変だったみたいです。で、さらにその後、妹はお付き合いしている福島の方の所（相馬。福島第一原発からは40km強の位置）へ避難するんですよ。その直後です。原発が...。そんなこともあったり

、食料とかもなく、大変な時に相手の方のおうちにいつまでもお世話になっているわけにもいきませんので、私と旦那で仙台の近くまで妹を迎えに行くことにしたんです。買えるだけの食料を買い込んで。うちの畑で採れたものとかも、車に積めるだけ積んで…。車は、ガソリン車ではなくて、軽油で走るものをおじさんから借りて行きました。予備の軽油も積んで。道中、緊急車両や自衛隊の車をたくさん見ましたね。仙台あたりの道はボコボコで…、途中のコンビニには商品がなんにもない状態で、店の前には買えなくて茫然と座り込んでいる人がいたので車の中にたくさん積んであった食料を分けたり、自衛隊の方にコーヒー差し入れしたり…。あの頃は、お互い知らない人同士でも団結力というか、一体感というか、そういったものが強く感じられましたね。残念ながら、その頃に比べて最近では、あまり感じられなくなってきましたが。」

### ●心境や生活の変化はありましたか？

▶由紀子さん「落ちやすいものを下に置いたりっていうのは自然にやってましたね。ガスコンロや反射式のストーブの利便性に気付いたり。非常時持ち出し袋は、最初の頃はすぐ持ち出せる所に置いてあったんですけど、袋が大きいのでどんどん奥の方に押されていってしまった感じになっちゃってますね。袋の中もそのまんまなんで、風羽の服は明らかにサイズが合わなくなってる…。あと、変わったと言えば、周囲に感じるがあります。募金などに興味のなかった人も募金するようになったり…心境の変化があったのかなと。」

### ●10年後のイメージは？

▶由紀子さん「10年後…え～！？風羽18歳！？」

▶風羽ちゃん「10年後もばあさん（曾おばあちゃん）元気でいてくれればいいなあ。」

▶由紀子さん「10年後もこのままだいなあ。みんな仲良くね。」

【取材後記】今回お話を聞かせてくれた由紀ちゃんは「Q」（<http://handmadeq.jugem.jp>）の屋号でアパレル製作をされており、撮影場所となった板柳町のアップルモールにて開催されるクラフトイベント『クラフト小径』をはじめ、各地のイベントに出展されております。実は、ここに収まりきれないくらい、たくさんのお話を聞かせてくださいました。前後編に分けてお伝えしたいほどに…。それをうまくまとめるのが私の役目なのですが、いやはや力不足、才能不足を痛感させられました。（今号No.045の撮影とインタビュー担当者：なるみしう）

【寄付総額】2011年6月～2015年10月31日まで「¥3,795,179」を、あしなが育英会「あしなが東日本大震災遺児支援募金」へ寄付することができました。ご支援に深く感謝致します。

【定期購読のご協力を!】1年間の定期購読を承ります。1,800円(送料・寄付含)／1年間(12号)です。このフリーペーパーは定期購読の皆様のご支援で発行されております。ご支援の程、宜しくお願い致します。ご希望の方は、ウェブショップ（<http://shop.tovo2011.com>）よりお申し込みください。